



二〇二五年
四月号

エルダーサロン



高年齢者みなさんを多く雇用している飲食店の経営者から、こんな話を聞きました。

なくてはならない「犬山シルバー」

犬山市長 原 欣伸

「初めは高齢者雇用には積極的ではなかった。人材不足から仕方なく高齢者雇用を始めた。でも、雇用してみると、高齢者の方は、遅刻無欠勤で真面目に働いてくれる。お客さんからの反応もいい。若い人にとっては、おじいちゃんおばあちゃんの笑顔からマニキュアにはない温かみを感じたり、自分も頑張らなきゃと思える。また、高齢者のお客さんが増える相乗効果が表れた。今では、そんなおじいちゃんとおばあちゃんは親しみを込めて「〇〇ジーバー」（〇〇はお店の名前です）と呼ばれている。」

すごくいいお話です。そう！これが高齢者みなさんのパワーであり、魅力です。みなさんの真面目で温かな心と、いっぱい笑顔がよき犬山づくりにつながっています。「犬山ジーバー」は犬山になくしてはならない存在です。だから、これからもみなさんの豊かな知識と意欲、体力で、犬山づくりの担い手として、生涯現役でますますご活躍ください。犬山市はシルバー人材センターとみなさんの活躍をこれからも全力で応援していきます。



働<仲間



発行所 公益社団法人 犬山市シルバー人材センター
所在地 愛知県犬山市松本町二丁目7番地

TEL (0568) 62-8505
FAX (0568) 62-5819
e-mail: inuyama@sjc.ne.jp
https://www.sjc.ne.jp/inuyama/



令和7年度 事業計画

当センターの令和7年度事業計画が次のとおり決まりました。

I 基本方針

我が国の総人口は、前年に比べ五十九万人の減少と毎年連続で減少しています。また、総人口に占める六十五歳以上人口の割合（高齢化率）は、二九・三％と過去最高で世界トップとなっています。

このような人口減少、超高齢社会の中で、今後も活力ある地域社会を維持向上させるためには、働く意欲と能力のあるすべての高齢者が、年齢に関係なく社会の担い手として活躍し続けることができる生涯現役社会を実現することが、強く求められているところです。

こうした中、元気な高齢者が地域社会の担い手となって活躍するシルバー人材センターが果たすべき社会的役割はますます重要となっており、将来にわたり高齢者等の雇用の安定等に関する法律に定める公益目的事業を誠意と責任をもって行い、活力ある地域社会の発展に寄与することができるようにするためには、センターの基盤を一層強化する必要があります。

定年の延長など雇用環境の変化に加え、年

金支給開始年齢の段階的な引き上げ等の影響や高齢者の就業ニーズが多様化しており、新規入会者の低迷、会員の高齢化等により会員数の減少傾向が続いているため、会員の確保が最重要課題です。

加えて、昨年十一月のフリーランス新法の施行を踏まえた包括契約への円滑な移行を行い、健全運営に取り組んでまいります。

そのためには、センターのイメージアップ、働きやすい環境づくり、魅力ある仕事の開拓などの諸課題について、会員、役員、職員が共通認識を持った上で、解決に向けて力を合わせて果敢に取り組んでいかなければなりません。

センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」のもと、会員相互の親睦と信頼、連帯感を醸成しながら、大山市など関係機関との連携を密にし、地域から頼りにされ貢献ができる魅力あるセンターとなるよう事業を進めてまいります。

II 実施計画

1 公益社団法人としての健全な運営

定款に則して公益目的事業を推進し、高齢者の能力を活かした活力ある地域社会づくりに寄与できるよう公益社団法人に相応しい健全な運営に努めます。

令和7年度収支予算

(単位：千円)

経常収益	
・受託事業収益	36,200
・包括的契約に係る収益	20,800
・労働者派遣事業等受託収益	2,640
・受取会費	700
・受取補助金等	44,630
・受取負担金	700
・特定資産運用益	5
・雑収益	80
経常収益計	105,755
経常費用	
・事業費	101,435
・管理費	4,320
経常費用計	105,755
当期経常増減額	0

2 活力と魅力あるセンターを目指して

(1) センター事業推進のためには、会員数の拡大が不可欠です。会員、役員、事務局が丸となって粘り強く会員の確保を目指します。

(2) 就業開拓委員会を中心に、多様な会員の就業ニーズ及び市民ニーズに応じた就業機会の確保・拡大に努めます。

(3) 安全委員会を中心に、安全就業の周知徹底を図るなど事故ゼロを目指した取り組みを強化するとともに、適正な就業形態の推進を図ります。

(4) 既存事業の課題等の改善や見直しを進めるとともに、新たな事業の開拓に向けた調査研究を進めるなど、独自事業を着実に推進して、センターの活性化につなげていきます。

(5) センターの将来に向けた安定的な運営と事業拡大のために、会員組織の強化と事務局体制の整備、財政運営の健全化を図ります。

シルバー人材センターのさらなる魅力

シルバー人材センターでは、高齢者の活躍の場を広げ、地域に貢献するさまざまな取り組みが行われています。今回は、研修先で学んだ事例をもとに、シルバー人材センターの魅力をより皆様に伝えようと思い、記事を書くことになりました。 (千田 茜)

■♡形コロッケで客層を広げる

他市のシルバー人材センターが運営する店舗では、さまざまな商品や農産物、郷土の味を味わえる食事の提供をしていました。中でもコロッケの販売には、パッケージや見栄え、味に工夫を凝らしていました。しかし、利用者の多くは高齢者であり、客層が限定されていました。そこで、新たな顧客層を取り込むために考案されたのが「ハート形のコロッケ」です。

このハート形コロッケは、見た目のかわいらしさから「インスタ映えする」と話題になり、若者の関心を引くことに成功しました。その結果、従来の高齢者層に加えて、若者や家族連れの来店が増え、店舗全体の売上も向上しました。

この事例から学べることは、ちょっとしたアイデアと工夫で、シルバー人材センターの活動がより幅広い世代に受け入れられる可能性があるということです。今後も地域のニーズを踏まえながら、新しい商品やサービスの開発にチャレンジしていくことが大切です。



■委員会ごとに作成する会員募集チラシ

会員募集のチラシを委員会ごとに作成する取り組みを行っているシルバー人材センターがあります。一般的には、センター全体で統一したチラシを作成することが多いですが、このセンターでは各委員会の特性を活かし、より効果的な募集活動を行っています。

この方法のメリットは、会員自身が「載せたい情報」を盛り込めることです。そのため、チラシを作成する過程で自分たちの活動に対する理解が深まり、さらに前向きに広報活動を行う意欲が高まります。

例えば、福祉系の委員会ではシニア向けのサロン活動について詳しく掲載したり、子どもの送迎サービスや公共・企業イベントの託児サービスの仕事について具体的に紹介したりすることで、仕事の募集と会員募集を結びつけています。この工夫により、「この仕事がしたいからシルバー人材センターに入会する」という動機を強く持てる点が魅力です。そのため、ターゲットに応じた魅力的なチラシを作成することができます。このような工夫により、各委員会の個性を活かした会員募集が可能となり、結果として多くの新規会員の参加につながっています。



■楽しい場所が人を引き寄せる

発展しているシルバー人材センターには、共通して「会員さんが楽しいと感じる憩いの場」があります。また、職員も「楽しいところには自然と人が集まる」という思いを持ち、それを叶えるために会員と職員と一緒に活動に取り組んでいます。

人が集まる場所には活気が生まれ、会員同士の交流も活発になります。こうした環境が、センターの活動をより魅力的なものにし、会員の継続的な参加にもつながっていきます。

シルバー人材センターの活動は、地域社会に密着し、多くの人々の役に立つことができます。今後も創意工夫を重ね、会員の皆さまがいきいきと活躍できる場を増やしていきましょう。

妻とビールと仕事と旅行

橋爪 出嶋 亨

シルバーに入会して三回目の春を迎えます。収入のほとんどが、妻との晩酌代に替わっています。現役時代はワインを中心に飲んでい

ましたが、六十才を過ぎからは、ビールと焼酎に変えました。収入の減少が大きな要因ですが、健康を考え、楽しくお酒をたしなむことができるようになりました。

旅行も、長期ではなく一泊二日の小旅行が中心です。去年の夏には、蒲郡クラシックホテルで、

会員の広場

おいしいカレーランチをいただきました。美しく風ぐ海とカモメを見ながら飲んだ生ビールの味が忘れられません。ぜひ、また行きたいと思っています。そして、今年も妻と美しい名所を巡り、その土地のおいしいお酒と食事を楽しみたいと思っています。



年を重ねたからこそできる楽しみが、たくさんあります。元気に働いて、収入を得ることができると幸いです。一緒に働

いているシルバーの皆さん、いつも楽しく働くことができて感謝しています。これからもよろしく願います。

明健創



塔野地 高橋 義信
私のモットーは「明健創」である。

「明」は心を常に明るく穏やかに保つこと。何事もポジティブに捉え、ストレスを溜めない。そのためには朝起きると散歩に出かけ、朝日を浴びながら大声で歌う。庭仕事や旅行に出かけるのも良い。嫌なことはすぐに済ませる。適度に酒を飲むのもまた良い。

「健」は身体を健康に保つこと。特に運動、労働、食事に気を配る。実践しているのはウォーキング、山登り、スキー、ソフトバレーボール、ショートテニスなどの運動。家庭菜園などの畑仕事やシルバーの作業も楽しい。食事は何でも食べる。そのためには歯の手入れは重要である。

「創」は頭脳を創造的に保つこと。呆け防止のために、できるだけ頭を使う。何事にも興味を持ち、多彩な趣味を持つことが大事である。実践しているのは読書、天声人語の書き取り、クロスワードパズル、SNSの投稿など。絵画鑑賞や映画鑑賞も好きだ。

健康で楽しく

橋爪 松本 ツヤ子

シルバー人材センターの会員になり、すぐに歯科医院の清掃で働き始め、早九年前になりました。私にとって働くことは生きがいであり、また健康にもつながっています。

週に三回くらいプールで泳ぎ、時には切り絵をし、近所のお友達とのお茶でおしゃべりを楽しんでいます。これも健康の秘訣です。



誠心誠意働き、自分で楽しい職場環境を築くことで、長く働くことができました。私も九十三才、そろそろ引退の年頃かなと思うこともあります。『いつもありがとう』と言ってくださる先生方のお声を励みに頑張っていきたいと思っています。

桑名市から犬山市へ移住して

羽黒 杉 護

三重県の桑名市から犬山市へ移住して、今年で四十年になります。私の人生は、犬山と

桑名でちょうど半々過ごしたことになります。なぜ犬山の地を選んだかは、単に職場に近かったからです。後から思うと犬山と桑名が意外と類似点が多くあることに気付きました。故郷桑名の紹介を併せて記します。

①名古屋へのアクセスが電車で二十〜三十分と、ほぼ等距離の位置。

②徳川家ゆかりの城下町であること。桑名藩の初代藩主は、徳川四天王で有名な本多忠勝公です。城跡（九華公園）の近くに立派な銅像が建っています。

③大河木曾川沿いの町であること。犬山から船で下れば、桑名の河口に到着します。

④ユネスコ無形文化遺産の祭り。犬山にはご存じ犬山祭り、そして桑名には、日本一やかまししい桑名の石取り祭り。真夜中の十二時から鉦や太鼓で叩きだしが始まります。



⑤大洪水を経験した歴史があること。犬山は明治元年の入鹿切れ、桑名は昭和三十四年の伊勢湾台風です。床上に泥水一メートルの恐怖を経験し、今でもトラウマになっています。入鹿切れの講演には何度か参加しました。



この頃思ふこと

塔野地 武井 幸雄

シルバー会員になり早十年になります。私は団塊世代のど真ん中の昭和二十三年、九州の田舎に生まれ育ち、後に転勤の多い銀行に就職し、その間転勤十か店、転居七回と家族共々多忙な年月を送りました。そして昭和五十七年、犬山に終の棲家を構え、念願の「犬山人」となり、三月で四十三年を迎えます。今年は金婚式、そして喜寿の節目の年です。これからも健康第一で散歩（一日七千歩）そして趣味の家庭菜園、ゴルフや旅行など大いに楽しみたいと思っています。

先日手にした本に気になる一文を目にしました。「人生とは生まれた瞬間から死に向かって歩き始める道程であり、それは日めくりカレンダーのようなものである。日めくりの残数（寿命）は個人差があり不平等で残り枚数が人それぞれ分らないところが人生の妙味である。と……」。おひとり様一回限りの人生であり禅語の而今（じこん）の如く今ただ精一杯楽しく生きたいと思う。素晴らしきかな七十年代。そして人生の幸せは後世にあり。



『蛍の光』&『別れのワルツ』

先月三月は卒業シーズンでしたが、この時期におなじみの曲についてチョイト豆知識をご紹介します。実はどちらの曲も、原曲はスコットランド民謡『オールド・ラング・サイン』です。その歌詞は、旧友と再会し、思い出話をしつつ酒を酌み交わすという物語です。



『蛍の光』は明治十四年、日本語の歌詞をつけて小学校の唱歌として誕生、別れの曲として卒業式などで歌われるようになりました。一方『別れのワルツ』は、一九四〇年代のアメリカ映画『哀愁』の名シーンに使用するために、ワルツ風にアレンジした楽曲です。

デパートやテーマパークなどで耳にする閉店・閉館のBGMの多くは、『別れのワルツ』が流れています。つい『蛍の光』と認識されがちですが、昔から日本では別れの歌として『蛍の光』が親しまれてきたことに起因するようです。

（強力 安幸）

シルバー城下町プラザで行っている『わんまるサロン』では皆様いろいろなお話をしています。そこで、サロンこぼれ話を少し紹介します。

交通安全教室

三月十七日、高齢者活動センターにおいて「交通安全教室」が開催され、会員二十一名が参加しました。犬山警察署交通課交通総務係の古賀警部補が講師を務め、実際にあった事故例を基に講話がなされました。

愛知県は免許証・車の保有率は全国一位。交通事故死者数は東京に次いで二位ということです。

車の事故は、自宅の半径五百メートル以内の慣れた道の、注意力が低下しやすい状況で起きやすいそうです。

事故例の一つとして、交差点で車が停止線から徐々に進んだ時、横から来た自転車がつつきりはしなかったものの驚いて転び、「大丈夫」と言っただけで立ち去ったが、後から人身事故となった事例が紹介され、他にも幾つもの交差点の事故例が紹介されました。自転車についても、自転車は軽車両であり、交通ルールを守らず事故に



あった場合、過失割合が高くなり、保険金が下りない場合もあるということです。

年齢が高くなると身体能力が衰え、動作が遅くなり、緊張して焦るとアクセルからブレーキへの足の移動がスムーズにいかなくなるようです。日頃から自分の身体能力を自覚し、安全運転に努めたいものです。

新年表敬訪問

一月九日、毎年恒例の市長新年ご挨拶に犬山市役所を訪問。小林会長・山口事務局長のほか、三名の役員が参加しました。原市長・永井副市長からシルバー発展のための温かい言葉をいただきました。



新入会員紹介



令和七年一月
三月入会者

久米 朝子 (橋爪)	河村 育恵 (犬山)
三品 和弘 (犬山)	興梠千加子 (前原)
河合之里子 (上野)	加藤美由起 (羽黒)
吉野 絹代 (楽田)	久保田 実 (羽黒)
佐橋 克美 (羽黒)	小島 慶久 (前原)
津田 裕之 (長者町)	谷田 正治 (上野)
奥田千江子 (善師野)	広瀬登美子 (富岡)
杉本 京子 (五郎丸)	佐伯 正 (楽田)

ご当地じまんまつり (各務原)

トマト出張販売



「ご当地じまんまつり」が開催されました。

地域サークルや伝統文化など、各地の「じまん」が大集合の中、犬山市シルバー人材センターからは自慢のトマト「おいしい花子」を



楽しんでいただくために、トマト作業班の最強メンバー、山口局長と丹羽副会長の二名体制で販売に参加しました。愛情たっぷりのシルバー産トマトの

しさを十分に知っていたため、試食販売と売り込みトークにより、聴いて、楽しんで、食べていただく二日間、見事、完売の結果を出すことができました。

*このイベントは毎年実施され、たくさんのお出会いと笑顔で面白い地元を再発見しちゃうお祭りです。入場は無料。次回は是非行ってみませんか。

切り絵に魅せられて

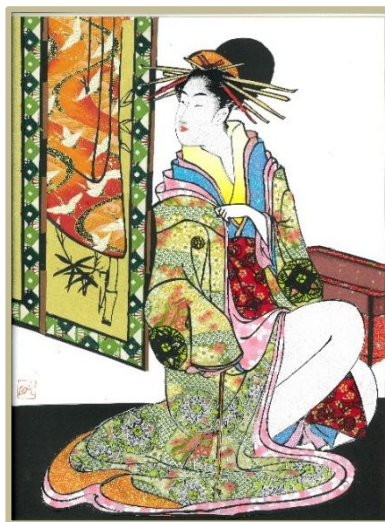
会員さんの趣味の世界を訪ねて



シルバー会
員の志村豊
さん(前原)は、

二十年ほど前、

小牧在住の友人から「切り絵」の楽しさを知り、切り絵同好会に所属しながら、研鑽し、今やトップレベルの技能を習得され、素晴らしい作品を生み出しておられます。すでに一〇〇〇点を超える作品を作成。今回、センターで志村さんの作品を拝見しながら「切り絵」の魅力についてお話を伺いました。



より感じる事ができました。志村さんは、「切り絵の作品作りは、暇つぶしにやれるのととても幸せを感じている」と。現在も午前中は作品作りにあてているとのこと。これからも私たちを驚嘆させる素晴らしい作品作りを続けてほしいと強く思いました。(編集委員：奥村)

するそうです。志村さんの「能を演じる人物」作品で、袴、着物、袴などのバックの色調のセンスは素晴らしい、数十年のキャリア無くしてはできないと強く感じました。これらの作品の一部はいくつかの施設に展示されているそうです。切り絵の良さを知るには、その写真よりも、現物を目の当たりにすることで、

切り絵は奈良時代に中国から伝えられ、着物の模様づくりに使われたのが始まりとのこと。「伊勢型紙」としてよく知られています。絵型をもとに多種類のナイフ道具を使い分けて切り抜いていく、その作業は、拡大鏡も使いながら数ミリの大きさを切り抜く繊細なもの。根気と忍耐が不可欠。終始注意を払いながらの作業は、とても神経を使うとのこと。高度なものの完成には、一作品に数か月かかるとのこと。また、切り絵の仕上げに、下地に色紙を使い、その色の選定とバランスが作品の良し悪しを決めるのでその選定に苦心



他にも作品を掲載していますのでぜひご覧ください。こちらから▶



人事異動

当センターの事務局次長・田中豊明が令和七年三月三十一日付で退職し、同年四月一日付で志賀知香子が事務局次長に、渡邊哲也が臨時職員に就任しました。前任者同様ご指導とご協力をよろしくお願いします。

退職者挨拶

田中 豊明



短い期間でしたが大変お世話になりました。市役所から来た自分にとってシルバーでの経験は、毎日が新しい発見ばかりの新鮮なものでした。当時不安でいっぱいだった頃、会員のみなさんや職場の仲間の温かさに救われたことは今でも覚えており、感謝しております。職場を去るにあたり、この、人の温かさこそシルバーの魅力であり、強みなんだと改めて思いました。今後変わらず人に温かいシルバーであってください。

新任者挨拶

渡邊 哲也



この度、縁ありまして当センターに勤めることになりました。以前は介護保険対象者関係の仕事をしておりました。今後は、依頼者様と会員様との良い懸け橋となるよう頑張りたいと思います。

女性委員会

イベントを開催していきま

女性委員会では、女性会員拡大のため、定期的に楽しいイベントを開催しています。

二月十八日には高齢者活動センターにおいてカラオケ交流会を開催し、センター会員のほか一般の方も五名参加され、歌とおしゃべりを楽しみました。

今回は左記のとおり開催予定です。ぜひご参加ください。



女性委員会「スマイルワン」ギターと歌う交流イベント

▽日時 令和七年五月九日（金）

十時～十二時

▽場所 高齢者活動センター 集会室

▽内容 ギターの演奏に合わせて皆で楽しく歌いましょう

▽費用 一〇〇円（茶菓代）

▽参加資格 市内在住六十歳以上の女性

▽定員 二十名

▽申込期限 令和七年五月二日（金）

▽申込先 シルバー人材センター事務局

春の写真展開催（写真同好会）

▽期日 五月二十六日（月）～二十九日（木）

八時三十分～十七時十五分

（最終日は十五時まで）

▽場所 犬山市役所 一階 市民プラザ

職群班「かりんの会」研修旅行

福祉・家事援助サービス職群班「かりんの会」では、二月十四日、大府市あいち健康プラザで研修会を行いました。

かりんの会会員の年齢も高くなっており、足腰が弱くなると何かとやる気が落ちてきます。今回は体力測定（十メートル歩行、握力、長座体前屈、開眼片足立ち）を行い、評価表で各自の健康度を知ることができました。

午後からはリズム＆ストレッチ。音楽に合わせたダンスは皆さん手と足の動きに苦労していました。が、ザ・ピーナッツの曲に合わせて楽しみつつ、どのような点に気を付けるかご指導いただきました。毎日の生活の足しにしたいと思いました。



シルバーの事業や運営に参加してポイントを獲得し特典をゲット！

- ・講習会参加：1P
- ・ボランティア参加：2P
- ・会員紹介：5P

など

詳しくはこちら



パソコン・スマホからセンターからの情報をチェック！

- ・センターからのお知らせ
- ・就業情報
- ・配分金明細
- ・条件明示書

編集後記

新年度が始まりました。気分も新たに行動しましょう。まずは健康第一、交流を深め、新しいことにチャレンジする気持ちを忘れずに日々過ごしたいものです。（〇）